

浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.972 2019.09.04 (水)

2019～20年度 RI会長

RI2620 地区ガバナー 安間みち子 (浜松ハーモニーRC)

Hamamatsu
Harmony RC
Weekly
Bulletin



会長挨拶

新井康久

皆様こんばんは。

本日の例会はロータリー財団委員会加藤委員長からの地区ロータリー財団セミナーの報告と西川会員ご紹介の浜松市鳴江アートセンター拝田様、そして木下恵介記念館の内山様の卓話となります。拝田様、内山様ようこそいらっしゃいました、よろしくお願い致します。今月9月の国際ロータリー月間テーマは基本的教育と識字率向上月間となります。世界には基本的教育が受けられず成人が読み書きできない地域があります。そうした地域で基本的教育を提供して識字率を上げれば、諸問題の解決の糸口をつかむことができるということでロータリーの6つの重点分野の1つになっています。また9月には日本独自の月間テーマも設定されていてロータリーの友月間となっています。前回ロータリーの友地区代表委員の望月会員よりお話がありましたが、ロータリーの友はロータリー地域雑誌と呼ばれ全世界に約30誌あり、その目的は地域の特徴ある活動をその地域のロータリアンが共有することであり、購読は会員の権利であり義務であります。合同奉仕事業の幹事クラブ様へは友への投稿をお願い致しました。これからのロータリーの友をどうぞよろしくお願い致します。それでは本日の例会が有意義な会となりますようよろしくお願い致します。



ゲスト

拜田真直様、
内山丈司様
(浜松創造都市
協議会職員)



幹事報告

配布物：ロータリーの友9月号、ガバナー月信9月号
次週例会のご案内

スマイル

新井康久・山内慶太 (鳴江アートセンターから拜田様、木下恵介記念館から内山様がお越しくございました。よろしくお願ひいたします)

出席報告

出席率 36名中26名 (72.22%)

プログラム「R財団セミナー報告」加藤健司会員



ロータリー財団の標語「世界で良いことをしよう (Doing good in the world)」は、財団創設者であるアーチ C. クランフの言葉「寄付に

よる基金をロータリーで作成し、世界的規模で慈善、教育、その他の社会奉仕の分野で何か良いことをしよう」が起源です。ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」と定められており、「ロータリー財団は、寄付を受け、ロータリークラブや地区を通じて実施される人道的・教育関係の活動に資金を分配する非営利財団である」と定義しています。

プログラム 浜松創造都市協議会が管理運営する「鳴江アートセンターと木下恵介記念館」



●昭和3年、静岡県の浜松警察署庁舎として建設され、昭和45年まで警察署として使われ、以降浜松市鳴江別館として活用されてきました。耐震上の問題で、平成13年に望楼が解体され全面解体の方針が出されましたが、平成20年、浜松市民の保存運動により保存が決まり、平成25年11月から鳴江アートセンターとして活用されています。ここでの創造活動事業について映像でお話しします。

●木下恵介記念館の建物は、浜松市指定有形文化財に指定されている歴史的価値のある建造物です。1930年に「浜松銀行協会集会所」として建てられ、2004年に浜松市に譲渡されました。館内には、設計者の中村與資平に関する資料室もあります。また、毎月第3日曜日には、木下恵介監督の映画上映もありますので、是非おいでください。



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp